授業規律の定着と数学科を中心とした授業力向上

武豊町立富貴中学校

本校は、「規律・礼節」をキーワードに、生活・学習習慣の構築に努めてきました。一方で、数学科をはじめ「確かな学力向上」には課題を残していました。そこで、今回の委託を好機ととらえ、その両立を図るテーマを設定しました。授業規律については、元県立高校校長の伊藤氏による講演会を設定し、町内各校やPTAに案内を配布して、連携を意識した指導方針の確認の場としました。また、数学科の授業力向上のため、昨年度まで初任者拠点校指導員で算数・数学科の指導で定評のある山本氏に計25回の来校を依頼し、4名の数学科教師への見本授業、研究授業前後の個別指導、教科部会での指導の場を設けました。さらに、両氏には、学校訪問、市町初任者研究授業、学校公開日にも各授業を観察し、ご指導をいただく機会を設け、全職員に対し方針の確認を行いました。